

報道資料

2026年4月15日
大崎クールジェン株式会社

酸素吹石炭ガス化複合発電実証試験発電所 ガス化炉周辺設備からの火災について

昨日（2026年4月14日）、午前4時45分、酸素吹石炭ガス化複合発電（酸素吹IGCC）※1実証試験発電所（石炭火力、所在地：広島県豊田郡大崎上島町、社長：菊池哲夫）のガス化炉周辺設備（チャー回収装置出口配管）付近において火災を発見したため、直ちに消防署へ通報するとともに当該設備の運転停止措置を実施しました。

運転停止措置により火災は直ちに収まりましたが、安全を確認した上で、同日午前10時15分、消防により鎮火を確認しています。

本火災による負傷者および発電所敷地外への影響はありません。

火災原因の究明および再発防止策については、関係機関にご指導をいただきながら確実に実施してまいります。

火災により、地域住民の皆さまをはじめ、関係者の皆さまに大変なご心配とご迷惑をお掛けしましたことを心からお詫び申し上げます。

以上

※1 酸素を用いてガス化炉で石炭をガス化し、石炭ガス化ガスを燃料としたガスタービン発電と、排熱を利用した蒸気タービン発電を組み合わせた複合発電方式。

【お問い合わせ先】

大崎クールジェン株式会社
総務企画部 総務グループ
担当者：矢富・下山

TEL：0846-67-5250

酸素吹石炭ガス化複合発電実証試験発電所 概略図

